

市町村等と連携し、すべての県民が参加するごみ減量の取り組みを広げるとともに、地域振興局ごとに設置したチャレンジ800実行チームで地域の実情に応じたごみ減量の取り組みを進め、目標達成を目指します。

## 令和3年度

令和3年度には6年連続日本一となりました(令和元年度実績)。令和2年度に策定した長野県廃棄物処理計画(第5期)の目標である790gを目指し、引き続きごみの減量を呼び掛けてまいります。

ごみの排出量が少ない県  
長野県は6年連続 **日本一!**

トップで居続けることは難しい それは日々の積み重ねだから

長野県は6年連続で1人1日当たりのごみ排出量が少ない都道府県1位になりました。<sup>※</sup>  
例えばマイバック・マイボトルを使う、詰め替え品を買う、きちんと分別してリサイクルするなど…  
毎日コツコツとごみを減らす工夫をしてきた県民の皆さまのごみ減量への取り組みの成果です。  
引き続きごみの減量にご協力をお願いします。

※環境省「一般廃棄物処理事業実態調査」による調査結果

これからも美しい長野県であるために

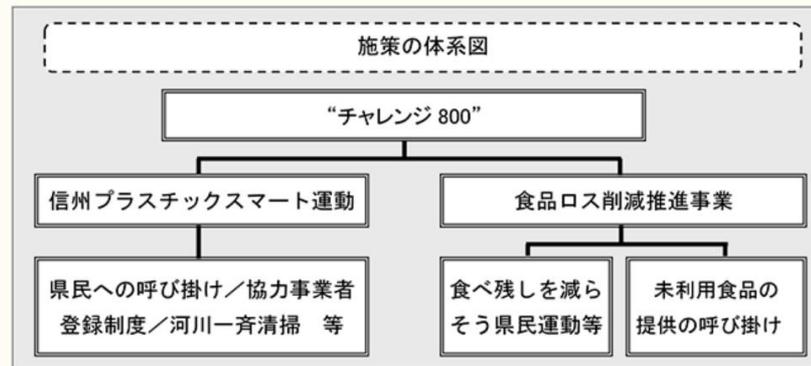
**V6** 長野県が、ごみ排出量の少なさランキングで6年連続日本一となりました。

令和元年度の県民1人1日当たりのごみ(一般廃棄物)排出量は前年度から5g減りましたが、「6年連続」ごみの排出量が少ない都道府県日本一となりました。県民の皆様の日ごろからの努力と市町村の取り組みの成果です。  
引き続き、「長野県廃棄物処理計画(第5期)」の目標「1人1日当たりごみ(一般廃棄物)排出量790g(2025年度)」を目指し、ごみの減量にご協力をお願いします。

順位	都道府県	排出量
1	長野県	676g
2	京都府	687g
3	滋賀県	687g
	全国平均	902g

## 長野県のごみ減量施策

長野県では、「ごみ減量日本一」の継続及び長野県廃棄物処理計画(第5期)に掲げる「1人1日当たりのごみ排出量790g(2025年度)」の達成を目指し、以下の取組を進めています。



長野県では、平成22年度から食品ロスの削減を目指し、飲食店や宿泊事業者の皆様にもご協力いただき「食べ残しを減らそう県民運動」を実施していますが、平成28年2月からは、名称を「食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～」に変更しました。身近なスーパーマーケット等の食品販売関連事業者の皆様にもご協力いただき、さらなる食品ロスの削減を目指しています。

このページには、過去の事業や調査資料等を掲載していますのでご覧ください。

また、食品ロス削減の取組みを実施していただける店舗を「食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～」協力店として募集しています。詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

現在の長野県の取り組みや協力店の検索等については、長野県ごみ減量情報発信サイト「信州ごみげんねっと」をご覧ください。

信州ごみげんねっと

(外部サイト)

\*食品ロス・・・まだ、食べられるのに捨てられてしまっている食品。(参考:消費者庁ホームページ)



「食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～」協力店を募集します!

食品ロス削減に御協力をお願いします!!

長野県は、「残さず食べよう! 30・10運動」を推進しています。

宴会時、最初の30分と最後の10分は自分の席で、お料理を楽しみ、食べ残しを減らす運動です。

取組に参加いただけるお店  
長野県内で営業している飲食店、宿泊業、各種小売事業者、飲食料点小売業者のみなさま

取組内容

**掲示**  
ステッカーなどをお客様に見える場所へ掲示

**実践**  
「取組項目」から1つ以上を選んで実践

**PR**  
取組をお客様へ積極的にPRし、周知することで効果が生まれます。

信州ごみげんねっとで、ジャンル・市町村別の店舗検索が可能

取組項目

飲食店、宿泊業のみなさま

- 小皿メニュー等の導入  
…例「ごはんの量の調節」「小皿メニューの設定」等
- 持ち帰り希望者への対応  
…例「消費期限等を説明した上での持ち帰り提供」「持ち帰り可能な店内案内」「持ち帰り容器の設置」等
- 食品ロスを減らすため呼びかけ実践  
…例「注文受付時に適量注文を呼びかける」「残さず食べよう! 30・10運動の呼びかけ」等
- 上記以外の食品ロスを減らすための工夫  
…例「高齢者や女性に配慮したプラン・異を重視した料理少なめプランの設定」等

各種小売事業者、飲食料点小売業者のみなさま

- ロばら売り、量り売り等による食料品の提供  
…例「ばら売り・量り売りによる販売」「少量パックによる販売」等
- 割引販売による消費期限間近な食料品の提供  
…例「閉店間際の割引販売」等
- 食品ロスを減らすため呼びかけ実践  
…例「店内放送、ポップやチラシ等への掲載」「県民発ちったいないキャンペーン」賛同店 等
- 上記以外の食品ロスを減らすための工夫  
…例「フードバンクへの食料品提供」「学校体育館への野菜くずの提供」等

登録申込み方法 申込用紙取得先: 信州ごみげんねっと、長野県公式ホームページ

残さず食べよう! 30・10運動  
【宴会たべきりキャンペーン】  
重点取組期間 7～9月・12～1月

宴会では、たくさんのお料理が残ってしまいがちです。「もったいない!」ですよ。食べ残しを減らすために、「最初の30分間と最後の10分間」は自分の席についてお料理を楽しみ、「たべきり」で気持ちのいい宴会にしませんか?

30分間はカンパイ後の自分の席でお料理をいただきますように!

お開き前の10分間も自分の席でお料理をいただきますように!

ごちそうさま

近年、海洋プラスチックごみは世界的な問題となっており、海洋生物による誤食や、自然界で紫外線等により5mm以下となったマイクロプラスチックの生態系への影響などが懸念されています。

海洋プラスチックごみの7割は陸域から発生するといわれており、太平洋、日本海に流れ込む河川を有する本県も、決して他人事ではありません。

そこで、上流県である本県から、プラスチックと賢く付き合う「信州プラスチックスマート運動」の取組みを推進し、「ごみ減量日本一」の継続と「環境にやさしい長野県」を目指します。

## 運動の概要

県民の皆様へ、3つの意識した行動を呼びかけます。

意識して「**選択**」 ストロー、レジ袋は必要かどうか

少しずつ「**転換**」 使い捨てプラスチックから代替品へ

分別して「**回収**」 使い終わったプラはルールに従い分けて回収へ

## 「信州プラスチックスマート運動」の協力事業者を募集しています！



長野県では海洋プラスチック問題に上流県から向き合い、プラスチックと賢く付き合う「信州プラスチックスマート運動」を推進しています！詳しくは裏面をご覧ください

### ■登録できる方

長野県内でプラスチック削減等に取り組まれている事業者（小売業、外食業、製造業等）、団体（一般社団法人、NPO法人等）、学校など

### ■登録されると…

- 「信州プラスチックスマート運動協力事業者登録証」を交付  
※店舗用にはステッカーを別途お送りします
- 「信州ごみげんねっと」で取組内容等を紹介

信州ごみげんねっと



信州ごみげんねっと



### ■登録内容の例

- |                           |                             |
|---------------------------|-----------------------------|
| ○プラスチックごみを減らす取組           | ○プラスチックの製造・研究 ボランティアなど      |
| ・レジ袋の削減（スーパー等）            | ・バイオプラスチックの製造・研究            |
| ・使い捨てトレーやペットボトルの回収（スーパー等） | ・プラスチック代替製品の製造              |
| ・詰め替え用ボトルの使用（ホテル・旅館等）     | ・使い捨てプラスチックをリサイクル原料とした製品の製造 |
| ・プラスチックストローの廃止（飲食店） など    | ・河川におけるごみ拾い活動 など            |

### ■登録申込み方法

登録を希望する場合は、下記ホームページから募集要領をご覧の上、申込書を環境部資源循環推進課又は最寄りの地域振興局環境担当課までご提出ください。なお、申込みは随時受け付けます。※詳しくは下記提出先まで  
<https://www.pref.nagano.lg.jp/haikibut/kurashi/recycling/shigen/purasumabosyu.html>

環境教育

子どもたちに身近な食べ残しなどの「食品ロス」や近年世界的に問題となっている「海洋プラスチックごみ」について学習し、環境問題に関心を持つことでごみ減量に向けて行動してもらうことを目的として小学生向けの環境教材を制作しました。(令和2年9月)

PDF 「みんなでごみをへらそう!～食品ロスや海洋プラスチックごみをへらすためにできること～」(PDF:3,300KB)

生ごみの減量について(ダンボールコンポストのご紹介)

家庭ごみの30%から50%の重量を占めるといわれている「生ごみ」。「ぎゅっ」と、ひと絞りにして水を切るだけで、約10%減量になるといわれています。ぜひ、毎日の生活の中で習慣にしてください。

また、その生ごみを堆肥化して、ごみに出さないようにする取組みのひとつ、「ダンボールコンポスト」をご紹介します。

家庭で手軽にできるごみの減量。お試しください。



### ダンボールコンポストの作り方

◇用意するもの

- 厚めのダンボール箱(リング箱など)
- 新聞紙(1日分)
- ガムテープ
- ビートモス(15g)
- もみ殻燻炭(10g)
- スコップ
- 昔かご等ダンボールの下に敷くもの
- カバーとなる古布、洗濯バサミ
- 米ぬか(あると便利)
- 温度計(あると面白い)

◇ダンボールコンポストを組み立てる

- ダンボール箱のふたの部分を取り取り、底に敷きます
- 箱の底に新聞紙を敷き、ガムテープで固定
- ダンボールのふちもすべてガムテープで固定

◇蓋の場所を決める

雨に当たらない、風通しと自然のいい場所(ベランダや軒下)に置く  
 ①箱かごを並べて敷いたおなじ面に新聞紙を敷く(レンガなどでもOK)  
 ②外からの虫の侵入を防ぐため、布でカバーする

蓋の作り(新聞紙の重ねは2枚)

角材、レンガなど

◇生ごみを入れる

- 始めは水の20～40%くらい入れます(湯のとぎ汁など)
- 目的投入量の目安は500g(三角コーナー1杯分)くらい
- 生ごみに米ぬかをまぶして入れると発酵が速みやすい
- 生ごみは小さく切った方が分解が早い

★投入して2～3日おきかき混ぜるのも、その時にスコップでかき混ぜながら静か上です

分解しやすいもの	分解されないもの
・葉や茎などの大きな草	・腐ったもの
・リンゴ、アザミなど雑草	・食品包装のもの
・トウモロコシの芯	(ラップやアルミホイル、香、タバコなど)
・玉ねぎの外皮	
・稲草や雑草など水分の多いもの	
・糠などの大きな皮	

★味が濃い食べ残しは一度水やお湯をかけ水切りしてから入れるといいです  
 ★グレープフルーツの皮など防虫剤が臭くなるものは洗い流してから入れます  
 ★お酢や酢酸液に浸らす、入れて分解しやすくなるなどの効果がありますが、可能であれば手で洗って



## 松本市における食品ロス削減の取り組み

松本市は、家庭や飲食店における食品ロスを削減するため、「残さず食べよう!30・10運動」を実施しています。

宴会では、乾杯後30分間とお開き前10分間は席を立たずに料理を楽しむ時間としています。

家庭では、毎月30日を冷蔵庫クリーンアップデー、10日をもったいないクッキングデーとしています。

全市立保育園、幼稚園では、「ごみの分別と食べ残し」をテーマとした園児対象の参加型環境教育を実施しています。

また、環境教育によって変化した意識を継続させることが重要であることから、日常での学習が図れるように、食べ残しをテーマとした紙芝居を作成しています。

一方で、高齢者などから、宴会時において出される料理が多く、そもそも食べ切れないとの意見もあることから、「量より質を重視したメニュー」や「食べ切れる分量のメニュー」のことを「プラチナメニュー」と名付け、市内で提供可能な飲食店を募集しています。



食品ロス削減啓発用紙芝居

## 事業系ごみ減量化・適正処理の手引き(安曇野市)

安曇野市においては、家庭系ごみ(市民の日常生活に伴って排出されるごみ)が年々減少している一方、事業系ごみ(事業活動に伴って排出されるごみ)は平成25年度から増加傾向にあり、このままのペースで増加すると、一般廃棄物処理基本計画に定めた目標値はおろか推計値にも達しないという状況にあります。

このような状況に鑑み、事業系ごみの減量化・適正処理方法等について事業者の皆様にご案内する手引書を作成しました。

事業者の皆様におかれましては、本書を是非ご一読いただき、更なる廃棄物の減量化・資源化にご協力をお願いします。

事業系ごみ減量化・適正処理の手引き

事業系ごみ減量化・適正処理の手引き

令和2年1月

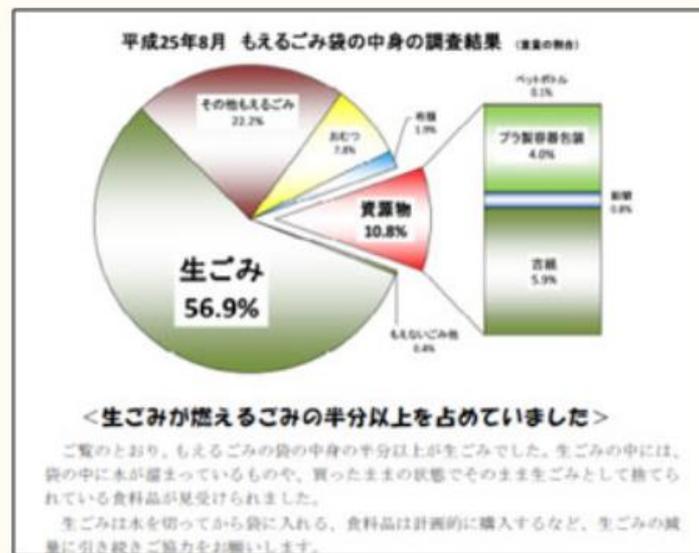
安曇野市 市民生活部 廃棄物対策課

安曇野市手引き

トップ > 県内取組事例 > 飯山市における分析データ活用の取組

## 飯山市における分析データ活用の取組

飯山市では、市民から排出される一般廃棄物について、月別の排出量や排出されたごみの種類(例・生ごみ)などの分析を行い、その情報をエコパーク寒川でのイベントなどの機会を通じて市民に公表し、廃棄物削減のきっかけとしてもらうよう取り組んでいます。



飯山市もえるごみ袋の中身の調査結果

## 宮田村における「みやだエコポイント」事業

宮田村では、省エネやごみの減量などをポイント化して、楽しみながらエコ活動に参加する「みやだエコポイント」事業を実施しています。

専用のポイントシート「エコ家計簿」により自己申告すると、計算されたポイントに応じて最大3,500円分(3か月ごとに20ポイントに達すると500円分、全期間の上位20人には2,000円分)の村内で使える商品券が贈呈されています。

ごみ減量ポイントは、リサイクル可能な紙の回収、使用済みの食用油の回収、生ごみの水切り減量化の取組に応じて、それぞれ付与されています。

**エコ家計簿の記入のしかた**  
入力は次の①～③だけ！簡単です！

① 名前や地区、家族の人数を入力

② 省エネポイント  
その月の検針票をみて、電力使用量を入力。  
下段には前年同月の使用量を入力します。  
※中電の検針票「電気ご使用量のお知らせ」には、左下のほうに「前年同月実績」として前年同月の使用量がわかるようになっています。確認してみてください。

③ ごみ減量ポイント  
あてはまるものには○を入力します。

パソコンで①～③だけ入力すれば  
ポイントは自動計算されます！  
紙に記入の場合も①～③だけを記入して  
提出していただければOKです！

エコ家計簿の記入のしかた